



学校での防災教室の様子(吉舎小学校5年生)【7月9日撮影】

令和3年6月定例会終わる

- こんなことが決まりました 2
- 予算審議 3
- 委員会審査 4
- 市政を問う(一般質問) 5
- 議会を傍聴しに行ってみよう 14



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧ください。



iOS



Android

三次市議会のホームページもご覧ください。

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

議会中継の録画や過去の議会だよりも掲載しています。

三次市議会

検索



りました

6月定例会を6月18日(金)から7月2日(金)まで開催し、
議案11件及び意見書2件を原案のとおり可決しました。

一部改正された条例

■三次市支所設置条例及び三次圏都市計画事業
みらさか土地区画整理事業施行条例の一部
を改正する条例
全員一致

■三次市消防団員の定員、任免、給与、服務等
に関する条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市避難行動要支援者名簿に関する条例の
一部を改正する条例
全員一致

■三次市グリーンビューあわしま設置及び管理
条例を廃止する条例
全員一致

■三次市税条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例
全員一致

PICK UP
全員一致

■三次市奥田元宋・小由女美術館設置及び管理
条例の一部を改正する条例
全員一致

その他の議案

■不動産の買入れの契約について
全員一致

■工事請負契約の締結について
全員一致

■損害賠償の額を定めることについて
全員一致

意見書

■地方財政の充実・強化を求める意見書
賛成多数

■少人数学級と教職員定数の改善及び義務教育
費国庫負担制度拡充に係る意見書
全員一致

採択した意見書についてはこちらから
見ることができます。
令和3年6月定例会をご覧ください。



PICK UP

● 三次市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する
条例の一部を改正する条例

機能別消防団員の増員を図るため、一部を改正する。
基本団員 1,520人→1,470人
機能別消防団員 100人→150人

● 三次市奥田元宋・小由女美術館設置及び管理条例の一
部を改正する条例

利用料金について、上限額のみの規定に変更し、コ
ロナ禍の中で集客等にかかる様々な施策を弾力的に行
うため。

- ・水曜日を休館日とする
- ・ペアチケットの廃止

詳しい議案の
内容については
こちら↓



令和3年度 三次市一般会計予算の補正(第4号)

補正額 6,435万7千円追加

総額 379億961万4千円

■主な使い道

- ・自治体マイナポイントモデル事業 1,681万6千円
 - ◆子育て世帯生活支援特別給付金事業 3,085万円
 - ・マイナンバーカード交付等特設窓口運営事業 117万9千円
 - ・消防団加入促進支援事業 870万7千円
 - ◆三次版学校 ICT 活用事業 680万5千円
- (◆印は新型コロナウイルス感染症対応分)

補正予算の概要は
こちら↓



6月補正予算をご
覧ください



こんなことが決ま

発議第3号に対し、討論がありました

地方財政の充実・強化を求める意見書



弓掛議員

反対 特別交付税の配分に当たり、諸手当の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこととあるが、基準以上の手当を払えるということは、その自治体財政に余力があるはずだ。そのような自治体に正規の交付税を出すよう要望するのはいかがか。交付税は、国民の税金だ。コロナ禍で労働者が苦しい状況にある中、このような要求は出来ないし、してはいけない。部分審査は出来ないため、反対とする。



新田議員

賛成 地方交付税も各自治体の財力の差によって住民サービスの差が生まれてはならない。国が確保し保障していくことは、大事な責務であると考えます。

諸手当が国の基準を超える部分の交付税からの減額措置は、地方財政を確立すべき国の責務を果たしたと言えない。財源不足から国の基準を下回る自治体にはそのカバーはされてはいない。

地方財政の標準化の維持のために意見書に賛成する。

子育て世帯生活支援特別給付金事業は、あらゆる媒体や機会を通じて周知に努められたい。
三次版学校ICT活用事業の貸与品は、運用や管理について保護者や関係機関と連携し活用を図られたい。

自治体マイナポイントモデル事業は、事業の内容を分かり易く周知し事業の目的が達成されるよう取り組みたい。また、モデル事業として成果を検証し、次の事業に繋げられたい。

【議案に対する指摘及び意見】

全員一致をもって原案のとおり可決

【審査結果】

議案第69号 令和3年度三次市一般会計補正予算（第4号）

【付託議案】

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案1件について、6月30日に委員会を開催しました。

予算審議

■ 6月定例会 審議結果（全員一致以外のもの）

○…賛成 ×…反対

区 分		発議第3号 地方財政の充実・強化を求める意見書（案）	
会 派	結 果	可決（賛成多数）	
と も え	小 田	×	
	新 家	議長	
	弓 掛	×	
	藤 井	×	
明日への風	月 橋	×	
	掛 田	○	
	藤 岡	○	
	徳 岡	○	
真 正 会	増 田	○	
	杉 原	○	
	齊 木	○	
	鈴 木	○	
会 派 未 来	横 光	○	
	竹 原	○	
	大 森	○	
清 友 会	新 田	○	
	宍 戸	○	
	保 実	○	
公 明 党	山 村	○	
	黒 木	×	
日本共産党	中 原	×	
市民の声	伊 藤	○	
三 創 会	重 信	○	
	山 田	○	



委員会審査

委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、6月24日～28日に各委員会を開催しました。

総務常任委員会

6月24日開催

【付託議案】

議案第59号「三次市支所設置条例及び三次圏都市計画事業みらさか土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例(案)」ほか5議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第59号「三次市支所設置条例及び三次圏都市計画事業みらさか土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例(案)」は、支所機能等の仮移転に伴って、市民生活に影響が及ぶことがないよう関係機関と十分な協議を行い、住民への周知徹底を図りたい。

議案第60号「三次市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例(案)」は、増員される機別消防団員の主に水防活動での役割を広く市民に周知し、有事における消防団との連携も視野にさらなる地域防災力の向上を図りたい。

議案第62号「三次市グリーンビューあわしま設置及び管理条例を廃止する条例

〔案〕は、入居20年で譲渡できるとされたもので、この度多くの方が物件を求められ、引き続き同地域のコミュニティが継続されることは大変喜ばしい。ただ、入居時の契約に不明確な点があったことで混乱が生じたことは残念である。今後も契約等においては、双方に誤解が生じぬよう十分な対話を行いたい。

議案第66号「動産の買入れの契約について」は、今後も消防団積載車両等の配備に関して、運転資格等の関係法令改正を勘案し、その性能等について消防団と十分に協議をされたい。



総務常任委員会の様子

教育民生常任委員会

6月25日開催

【付託議案】

議案第63号「三次市税条例の一部を改正する条例(案)」ほか2議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第65号「三次市奥田元宋・小由女美術館設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」は、社会の趨勢(マウズ)に多様なニーズに応じたサービスが展開されるよう指定管理者との協議を進め、広く来館者に喜ばれる取組を推進されたい。

【所管事務調査】

新型コロナウイルス感染症対策について



教育民生常任委員会の様子

産業建設常任委員会

6月28日開催

【付託議案】

議案第68号「損害賠償の額を定めることについて」

【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第68号「損害賠償の額を定めることについて」は、原因と対処についてよく検証を行い、以後同様の案件が発生しないよう努められたい。

【所管事務調査】

- 水道広域連携の進捗状況について
- 水道使用料検討委員会の報告
- 新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援事業の実施状況について
- 内水対策事業(貯留施設整備事業等)の進捗状況について



産業建設常任委員会の様子

委員会中継実施中

定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及び再放送は行っていません。

各委員長報告の全文はこちら



市政を問う



6月定例会では、13人が市政をたどしました。質問と答弁の一部を紹介します。

また、ホームページでは**一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています**。議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

詳細はこちらにアクセス

三次市議会

検索

一般質問一覧



- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 山村恵美子 (清友会) | 8 掛田 勝彦 (明日への風) |
| 2 宍戸 稔 (清友会) | 9 徳岡 真紀 (明日への風) |
| 3 黒木 靖治 (公明党) | 10 齊木 亨 (真正会) |
| 4 伊藤 芳則 (日本共産党) | 11 横光 春市 (真正会) |
| 5 重信 好範 (市民の声) | 12 新田 真一 (会派 未来) |
| 6 藤井憲一郎 (ともえ) | 13 竹原 孝剛 (会派 未来) |
| 7 藤岡 一弘 (明日への風) | |

また生徒会の自治活動として、生徒自ら服装や身だしなみ等についての啓発ポスターを作成し、廊下へ掲示をして決まりをみんなで守ろうという呼びかけを行ったり、内容について具体的に見直した学校もある。

迫田教育長

答弁1
生徒総会や学級活動の時間に議論している

児童生徒の人権侵害にあたる「ブラック校則」が問題になっている。文部科学省は、校則を社会や時代の変化に合わせて見直すよう都道府県教育委員会に通知した。広島県教育委員会でも各学校を指導されたと聞く。本市での取組状況を伺う。

質問1
校則の見直しについて本市での取組は

山村恵美子
清友会

動画



福祉避難所への直接避難を

配慮が必要な方に対して支援の取組を今後も継続的に行い、誰一人取り残さないという視点から、万一の災害発生に備えたい。

福岡市長

答弁2
特定の福祉避難所を避難先として定めることもある

民生委員や自主防災組織、居宅介護支援事業所等の関係者と連携し、避難行動要支援者の個別避難計画の作成に向けた取組を進める中で、要支援者の状況等により、あらかじめ特定の福祉避難所を避難先として定めることもあり得る。

質問2
災害時避難行動要支援者の福祉避難所への直接避難の促進を

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。





質問1 三次市の伝統文化継承の支援は

伝統的工芸品である三次人形への思いは、市民の心に象徴として根付いているものと考えます。6代目窯元が亡くなられたことで、その製作はどうなるのかと心配する市民の方は多いと思う。市として製作技術の継承を支援する考えはないか。

答弁1 今後のことについて対話をしていきたいと考えている

次世代の継承をどうするかという問題については、行政から積極的に口を挟めないとあるが、三次人形が今日まであるということは、多くの三次市民からも、今後一体どうなるのかといった心配の声もあがっている。こうしたことから、少し経過を確認しながら、家族や関係者としてしっかり対話をしながら今後のことについて検討していきたい。

福岡市長

質問2 三次版DMOみよし観光まちづくり機構と観光協会の統合は

現在、県にも相談をしながら、今後家族や関係者と幅広く話をして、製作技術の継承を検討していく。今後の検討課題であると考えている。

甲斐教育次長

魅力ある地域資源を提供するマーケティング機能と、地域を豊かにする仕掛けを創るマネジメント機能を持った観光地域づくりの舵取り役がDMOとされている。その機能を發揮するために、各観光協会を組織統合する方向性は誤りと考えるかどうか。

※DMO(ディーエムオ)：観光地域づくり法人。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。

答弁2 市全体が同じ方向で取り組み、効率的・効果的な事業展開を図りたい

現在、策定を進めている観光戦略策定検討委員会での意見等を踏まえ、組織統合を提案させていただいた。今後の観光事業は、「にぎわいの創出」から「稼ぐ力の創出」に向け、市全体が同じ方向で取り組み、効率的・効果的な事業展開を図っていきたいと考えている。そうしたときに、市全体の推進体制として、各観光協会とみよし観光まちづくり機構が一つになり、人的資源や物的資源、経営資源、ノウハウ等を集積して、効率的かつ効果的な事業が行えると考えている。

中廣産業振興部長



質問1 農業振興として資材等の購入助成ができないか

農業は命を守る産業だ。新規就農者への支援は手厚いが、既存の農家にも支援をしてほしいとの農家の声がある。基準を決めてビニールハウスの張替資材などの助成ができないか伺う。

答弁1 農業経営の中で対応していただきたい

今年度から地産地消応援事業として、野菜、果樹又は花きを学校給食や直売施設等で販売することを目的に、新規作付、規模拡大に取り組む生産者を対象に、ビニールハウスの導入や、かん水施設整備、機械導入等に対して支援をしているが、ハウスのビニールなどの資材や設備、機械等の更新は、それぞれの農業経営の中で対応していただきたいと考えている。

中廣産業振興部長

質問2 協同労働の取組はどうか

昨年、協同労働を行う団体への法人格を認める「労働者協同組合法」が成立し

答弁2 各地域への情報提供等を行ってきたい

た。多様な人々が、地域の課題に向けて自ら出資し、それぞれの特性を生かして事業を行う事ができる。市として「労働者協同組合」への取組をしてはどうか。

中原地域振興部長

同じ思いの人が集まり、できる範囲で出資し、対等な立場でアイデアを出し合っって人と地域に役立つ仕事に取り組みが「協同労働」であり、広島市でも、様々な団体が「協同労働」の仕組みを活用して取り組まれている。「協同労働」は、主体的なまちづくりや地域の課題解決の一つの手法であり、広島市の取組も含め各地域への情報提供等を行ってきたい。



ビニールハウス張替の助成はできないか

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。





質問1 コミュニティ・スクールは小中一貫校から学校統廃合へ向かうのではないのか

教育委員会に任命された委員では、教育委員会の意向をくむ者になり偏るのではないかと。さらに小中一貫校から学校の統廃合へと進むことになるのではないかと。小規模校を守ることは地域を守ることにとつながっていくのではないかと。

※コミュニティ・スクール：学校運営協議会制度。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる仕組み。

答弁1 学校の規模適正化を目的とするものではない

学校運営協議会を有する中学校区の校長の意見を参考に、地域住民や保護者代表等から教育委員会が任命するため、意向をくむ方ばかりを任命することはない。

コミュニティ・スクールを導入する目的は、小中一貫教育の取組をさらに充実・発展させ、地域と学校が同じ目標に向かい、よりよい学校や地域社会づくりを目指すことであり、学校の規模適正化を目的とするものではない。

質問2 保育所規模適正化は、小規模保育所の統廃合につながっているのではないかと

河内保育所について、令和4年4月に統合するとした説明会では、統合ありきで進むことになる。地元要望の3歳未満児保育をしてこなかったことで、他の保育所へ行くことになっている。要望や対策をせざるに統合では協議を十分できないのではないかと。

答弁2 適切なスピード感を持って話し合いを進めていく必要がある

保育所の規模適正化は、保育環境の充実と保育の質の向上を図るための取組だと捉えている。地域や保護者の皆さんとの協議、話し合いに時間を要することも考えられるが、子どもたちにとっては、集団での育ちを保障出来ない環境が継続することに繋がり望ましくないため、適切なスピード感を持って話し合いを進めていく必要があると考えている。



河内保育所



質問1 地域おこし協力隊の成果と課題は

本市には昨年度から活動されている地域おこし協力隊5名に加え、今年度から新たに2名、併せて7名の隊員が農業分野等で活動している。本制度の取組から「隊員」「地域」「行政」にわたる成果と課題を伺う。

答弁1 隊員の定住につながるよう積極的に支援していく

隊員は、能力などを地域のために活かすことができ、地域や行政の支援を受けながら活躍している。地域は、協力隊として若者が入ってくることで、新しいアイデアや提案を基に一緒に模索をしていくことで、にぎわい創出や担い手育成につながっている。行政としても、定住人口、関係人口、ツナガリ人口の拡大を図ることができ、地域の元気づくりにつながる。

活動のマッチングや隊員が地域の中にスムーズに入れるような受入支援が課題であり、地域と隊員がやりたいことのマッチングを図りながら、隊員の定住につながるよう積極的に支援していく。

質問2 学校評議員制度等とコミュニティ・スクールとの違いは

学校を核とした地域づくりをするにあたり、地域の実情、児童生徒の実情を踏まえた学校づくりは必要不可欠と考える。現行設置している学校評議員制度や学校関係者評価委員制度とコミュニティ・スクールとの違いを伺う。

答弁2 説明責任を果たすことと連携や協働による取組といった違いである

学校関係者評価や学校評議員制度は、校長の求めに応じて保護者や地域住民等から意見をもらう仕組みであり、保護者や地域住民の意向を反映し、学校として説明責任を果たすことが目的である。

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会の委員が当事者意識を持ち、育てたい子ども像や、学校運営のビジョンを学校と共有し、役割分担をして連携や協働による取組である。

地域住民が当事者として学校運営に関わることで、地域とともにある学校づくりや、課題解決に向けた取組を効果的に進めていきたい。





質問1
行財政改革の推進を

長期にわたって利用されていない市有地や、使われていない廃公共施設等を、民間へ安価に譲渡できないか。

答弁1
円滑に進められるよう努めていく

細美総務部長

公共施設等総合管理計画に沿い、使用目的のない市有地・施設の配置方針を定めている。しかし、境界確定や境界復元、分筆などに係る測量経費や譲渡する際の適正な価格を決めるための鑑定評価などに費用を要することから、進んでいないのが現状だ。今後、固定資産評価額を活用した価格の設定など、譲



廃公共施設等の有効活用を

渡のための方法を検討し、円滑に進められるよう努めていく。

質問2
高齢者へのICT利活用の支援を

今後確実に恩恵を受けるようになるであろう高齢者に、DXやICT等が理解されておらず、置き去りになっていないか。利便性を実感できるような支援についての考えは。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：情報技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。
※ICT（アイシーティー）：情報通信技術の略。通信技術を活用したコミュニケーション。

答弁2
利便性を実感していただけるよう取り組んでいく

堀川副市長

今年度は高齢者向けスマホ教室を開催することで支援を行っていきたい。老人クラブのご協力をいただき、スマートフォン教室をどのように効果的に開催できるか検討、準備を進めている。この教室では、スマートフォンの基本的な操作や、SNSの使い方、セキュリティの問題等、安全に利用していただく注意点等にも触れて、家族や友人とのコミュニケーションの活用につなげていける教室になればと考えている。いずれにしても、丁寧なサポートを行い、デジタル技術に少しでも触れることで、利便性を実感していただけるよう取り組んでいく。



質問1
三次市インターンシップ制度の導入を

近年企業へのインターンシップに参加している学生が増えている。この制度は、人口減少対策としても効果があると考えられる。学生と三次市内の企業との「つながり」をつくる三次市インターンシップ制度を新たに設立することを提案する。

※インターンシップ：職業体験。学生が在学中に専攻に関連する企業等に体験入社する制度。

答弁1
情報発信を効果的に行っていくたい

福岡市長

学生、企業にとっても三次市の関係性を広げていく手段としても有効的だと考えている。三次市人材確保支援事業補助金で市内の中小企業が採用に向けた情報発信や学生のインターンシップの受入れを行った場合、必要な経費の一部を助成している。インターンシップ支援での実績はないが、制度の周知を行い活用していただきたい。

現在インターンシップについては、各企業で取り組まれているが、学生の立場から、受入れ企業の情報を入手できない

いことや、企業への連絡が難しいという課題があれば、市内企業でのインターンシップがスムーズに実施できるための情報発信を効果的に行っていくと考えている。

質問2
ICTによる有害鳥獣捕獲モデル事業の今後の展開を問う

令和2年度からICTを活用した集落ぐるみの有害鳥獣捕獲モデル事業に取り組んでいる。今回のモデル事業で有害鳥獣対策としての有効性と事業継続の課題が明らかになった。今後、この事業を発展させるための考えを問う。

答弁2
地域が一体となり活動に取り組んでいくことが重要だと考える

中廣産業振興部長

ICT機器を活用することで、これまで駆除班任せであった鳥獣捕獲に対して、地域住民自らが主体的に取り組む意識の醸成が図られ、駆除班と関係機関が連携した地域ぐるみの捕獲活動を実践する有効な取組となったと認識している。地域自らが取り組んでいくという意識、駆除班との連携、地域が一体となり活動に取り組んでいくということが大変重要だと考える。
集落ぐるみでのこうした取組を普及するとともに、環境改善、侵入防止、捕獲を基本対策として、これらを総合的に進めていきたいと考えている。

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。





質問1 「断らない相談支援」をどのように実現していくのか

地域の福祉課題が複雑化、多様化する中で、制度や分野の縦割りを超えた「地域共生社会」の実現に向け、社会福祉法が改正され「断らない相談支援」と表現できる内容が盛り込まれた。今回の法改正を受け、「断らない相談支援」の実現について伺う。

支援、居住支援、居場所機能の提供など、多様な社会参加に向けた支援や地域とのつながり支援、関係性を広げるコーディネート機能、住民同士が参加できる場や居場所の確保を行う事業の実施等が重要となる。これまで以上に各部署、関係機関の連携を強化し、相談支援体制の充実を図っていききたい。

質問2 特定空家等への対応は

平成27年に空家等対策特別措置法が全面施行された。倒壊の危険性がある空き家対策は、市民の安全、安心を守る観点からも対処する必要があると考える。このような特定空家に対する対応はどうするのか。本市の考えについて伺う。

答弁2 状況に応じて、対策を講ずる必要があると考える

秋山建設部長
空き家は個人等の財産であるため、所有者等が自己責任で自主的に管理することが原則だ。老朽化が進行し、近隣に危害を与える恐れのある「特定空家等」の増加は、防災・衛生・防犯・景観等の面で市民の生活に影響を及ぼすと同時に、コミュニティ活動や地域の活力を低下させるといった、まちづくりへの課題である。そのため、所有者等の管理責任を原則としながら、個別の空き家の状況や地域の状況に応じて、対策を講ずる必要がある。



質問1 小中学生の通学荷物の重量化への対策を

市内小中学生や保護者から通学の荷物が重すぎるので、成長が阻害されるのは、など不安の声を聞いている。実際40年前に比べて二倍の重さになっていることが分かった。通学荷物の重さの軽減へ取り組む必要があるのではないかと。

答弁1 学校実態に応じた工夫を支援していく

甲斐教育次長
文部科学省から示された児童・生徒の携行品に係る軽量化の工夫例を通知するとともに、学校の状況を把握している。各学校においては、毎日の時間割をきちんと行わせ、必要最低限のものを持ってくるよう指導し、置いて帰ってもよい物の一覧表を作り、家庭と共有するなど、通学荷物の軽量化に努めている。また、タブレット端末の導入を生かし、その日の家庭学習に必要な資料をデジタル化して持ち帰る等の方法を検討している学校もある。

例を紹介すること等で、学校実態に応じた工夫を支援していく。



通学時に多くの教材を持ち運んでいる

質問2 三次市でも「ゼロカーボンシティ宣言」を

近年の異常気象や大規模な災害は気候変動が原因だといわれており、国も2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする脱炭素社会をめざして「ゼロカーボンシティ宣言」を推進しているが、三次市として宣言する予定はあるか。

答弁2 しっかり議論したうえで、宣言を行うか検討したい

矢野市民部長
本年3月に策定した三次市環境基本計画における温室効果ガス排出量の削減目標については、国の地球温暖化対策計画が、令和12年度において平成25年度比で26%削減とする目標を設定していることから、この目標数値を用いて、三次市環境基本計画の最終年度である令和7年度を中間地点として、平成25年度比で18.4%程度の削減をめざすこととしている。

本人・世帯の属性に関わらず、介護、障害、子ども、困窮の相談支援に加えて就労

答弁1 これまで以上に連携強化を図っていききたい



各種相談窓口がある福祉保健センター

牧原福祉保健部長





質問1 豪雨災害時の孤立集落の取組は

国道375号は平成30年と昨年の豪雨災害時、作木町内4箇所において冠水し避難すべき道路が寸断された。冠水時間は長いところでは丸一日続き、急病人などが出る心配な状況になる。鳴瀬・清流トンネルの開通後には、作木町内の国道375号は道路整備計画に位置づけがないので、重点事項として県に計画の要望を上げていただきたいかがか。

答弁1 整備が進むよう引き続き要望を行っていききたい

冠水区間の整備については、作木町自治連合会からも、本市及び県へ要望をいただいている。今年度、作木町下作木の港地区から以北については県で測量調査費等の予算措置がさ



国道375号線作木町下作木式から上流の冠水状況

れていると伺っている。これにより対応を検討されるものと思う。整備が進むよう引き続き要望を行っていききたい。

質問2 増えたツキノワグマを駆除できるよう要望を

昨年、作木町内の梨果樹園で、ツキノワグマによる被害が発生し、梨の収量に大きな被害を与えた。現在、三次市では錯誤捕獲の場合、殺処分をする事があるが、ツキノワグマは絶滅危惧種であり、特定鳥獣保護管理計画によって保護されているので、銃器による駆除はできない。この計画が来年3月までであるが、駆除ができるよう計画の見直しを県に具申したい。

答弁2 現状をしっかりと訴え要望していききたい

本市としては、生活圏に出没する個体が増加し続ける現状においては、人身被害の未然防止の観点から、一定程度の捕獲活動が必要と考えている。

第一種特定鳥獣ツキノワグマ保護計画が本年で終了するため、改正の時期をとらえて、本市の現状を広島県市長会を通じて要望していききたい。ただし、広島県の取組だけではなく島根県、山口県との3県での共同計画となっているため、それを含めた要望をしていく。



質問1 ワクチン接種は自治体間で連携すべきでは

ワクチン接種は「かかりつけ医」で接種すれば安心である。市外の医療機関を「かかりつけ医」としている市民も多い現状では、自治体間で連携して市外の医療機関で接種出来るようにすべきではないか。

学校、保育所等の関係者の優先接種者を7月10日と11日の2日間で、1回目の接種を実施と答弁しているが、市外からの勤務者も接種できるのか。

64歳以下で基礎疾患のある方が集団接種会場で受ける場合は、診断書を持参するよう行政として対応してはどうか、所見を伺う。

答弁1 県内どこでも接種が可能となるよう要望を行っていききたい

近隣市町はもとより、広域接種が実施されるように、県に要望をしていきたい。優先接種の考え方は、学校や保育所でのクラスター防止と感染拡大防止という観点から、市外の方も含めて、関係する職員を対象としての接種となる。

基礎疾患のある方は自己申告となっており、診断書等の提出は求められていない。また、接種出来ない方、または、かかりつけの病院で接種した方が良いと思われる方については、各医療機関において判断されるので、「かかりつけ医」にご相談いただきたい。

今後は柔軟な対応ができるようにしたい。市内の居住者だけが接種できるのでなく、広域的に接種できるような仕組みというのが望ましいと考えている。先進事例も踏まえて、今後も市長会等を通じて、県内どこでも接種が可能となるよう要望を行っていききたい。

福岡市長



開業医で新型コロナウイルスワクチン接種を受ける高齢者

※二次元コードから各議員の一般質問の録画映像を見ることができます。





質問1
中高一貫校の今後は

「オール三次」で取り組んだ県立中高一貫校開設から3年を経過した。県立中学は3年生までが入学し、来年には一貫生が一貫高校に入学し、3年後には卒業となる。

中間年あたりこの間を振り返ると、一貫校の高校への志望者の減少や、市外への高校進学も依然として多いなどの現状がある。学校運営協議会においても高校の運営をめぐって、「進路実績は必要だが、多様な進路を希望する生徒への支援」や、入学者の定員確保について、「勉強ばかり」という地域のイメージの払拭などが議論されている。市と高校が一層連携を深め課題を共有しながら取組を進めていく必要があると考えるが、見解を問う。

答弁1
検討しながら進めていきたい

県立学校の中での論議、経営の方策方針等がある程度示された中で、必要な部分、支援できる部分をお聞かせいただき、できるものは、支援や協力をしていく考

迫田教育長

えだ。
市教委としては連携の在り方や活動支援の検証は、毎年度行ってきた。県立三次中学校の説明会にも市教委の職員が参加し、話を聞かせていただいている。教職員の交流も、授業研究交流や出前授業等取り組んでいるので、今後とも検討しながら進めていきたいと考えている。



学年を超えた通学風景

質問1
市長就任半期の成果と課題は

人口減少社会が着実に進んでおり、来年度には5万人を下回ることが予想される。2060年には2万人台になるかもしれない。最重要課題として取り組まなければならない。決意とこの2年間の成果と課題は何なのか伺う。

答弁1
引き続き皆様のご協力をいただきながら着実に取り組む

福岡市長

市民や議員各位のご理解、ご協力をいただきながら「新しい三次」の前進に取り組んできた。就任当初は想定していなかった新型コロナウイルス感染症への対応は、各機関と連携しながら全力で取り組んでいる。昼夜を問わず尽力されている皆様に改めて敬意と感謝を申し上げます。こうした危機管理対応は行政として最優先で取り組むべき事項である。また、平成30年豪雨災害からの復旧も最重要課題として取り組み、県内トップの進捗となっている。ICTを活用した取組等、その他所信表明に掲げた各事業についても、皆様のご協力をいただきながら進め



質問2
市長の政治姿勢について問う

ているが、さらに「新しい三次」を前進させるため、残された課題に今後も着実に取り組んでいく。

令和元年5月の所信表明において「市民の皆さんの声を謙虚に受け止めつつ市民の付託に応えていく」と表明されたが、今年の参議院選挙では一方だけの偏った応援をされたが、国のパイプを一つ失って市民に迷惑をかけたのではないか。見識を伺う。

答弁2
今後も三次市民の幸せの実現に取り組む

福岡市長

参議院広島県選出議員再選挙では、一方の候補者から支援要請があり、経歴、政策等を踏まえ、最優先課題である新型コロナウイルス感染症対策の実行と、終息後の経済の立て直しに向けて適切な候補者であると判断し、要請に応えたものである。
選挙後、当選した議員と面会・懇談をしたが、他の県選出国會議員と同様に、地域の声を国政に届けていただける方であると確信している。
今後も提案・要望活動の中で、様々なパイプを通じて市民の幸せの実現に向けて取り組んでいく。



議員定数等調査特別委員会
(定数 10 人)



後列左から：藤岡一弘(明日への風)、新田真一(会派 未来)、黒木靖治(公明党)、月橋寿文(ともえ)、掛田勝彦(明日への風)
前列左から：伊藤芳則(無所属)、宍戸稔(清友会)、委員長：小田伸次(ともえ)、副委員長：杉原利明(真正会)、横光春市(真正会)

所管事務 議員定数・報酬に関する事項

調査期限 審査が終了するまで

議長の定例記者会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

1 令和3年6月定例会の総括

- (1) 議員定数等調査特別委員会の設置について
- (2) 委員会優先使用の会議室の整備について



市議会へのご意見 ありがとうございました

5月10日から8月10日までご意見をお寄せいただきありがとうございました。いただいたご意見は議会で共有し、個人情報に配慮した上で一部をご紹介させていただく場合がございます。

ホームページ送信フォームは一旦閉じますが、市議会では引き続きメールや郵送・FAXでご意見をお待ちしております。

■ 郵送

〒728-8501

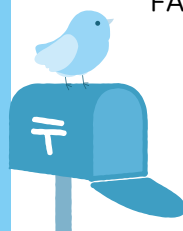
三次市十日市中二丁目8番1号

三次市議会事務局「市議会へのご意見」宛

■ メール・FAX

Mail: gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

FAX: 0824-62-6110



インターネット中継や市議会だよりの感想など、議会に関するご意見を引き続きお待ちしております。



各会派の政務活動報告

本市では、「三次市議会政務活動費の交付に関する条例」により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額30,000円を会派（所属議員が1人の場合も含む。）に対して交付しています。

令和2年度支出状況(議員数:24人)【4月分】

(単位:円)

会派	真正会 (8人)	ともえ (5人)	市民クラブ (4人)	清友会 (3人)	公明党 (2人)	日本共産党 三次市議員団 (1人)	若次会 (1人)	
交付額	240,000	150,000	120,000	90,000	60,000	30,000	30,000	
執行額 計	14,674	40,834	60,727	6,204	3,201	8,151	1,133	
内 訳	調査研究費	14,674	9,340	10,091	6,204	0	2,068	1,133
	研修費	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	0	0	545	0	0	0	0
	広聴費	0	2,945	1,682	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	30,000	0	0	0	0
	資料作成費	0	1,203	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	2,459	2,608	0	0	1,486	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	24,887	15,801	0	0	4,597	0
差引返還額	225,326	109,166	59,273	83,796	56,799	21,849	28,867	

令和2年度支出状況(議員数:24人)【令和2年5月～令和3年3月分】

(単位:円)

会派	ともえ (5人)	明日への風 (5人)	真正会 (4人)	会派 未来 (3人)	清友会 (3人)	公明党 (2人)	日本共産党 三次市議員団 (1人)	市民の声 (1人)	
交付額	1,650,000	1,650,000	1,320,000	990,000	990,000	660,000	330,000	330,000	
執行額 計	829,717	963,454	972,911	528,848	629,164	642,702	155,710	99,244	
内 訳	調査研究費	417,322	308,252	281,007	200,025	203,707	179,763	40,150	63,552
	研修費	12,421	130,885	112,140	1,000	86,185	152,060	0	0
	広報費	167,606	42,294	170,140	67,543	0	5,043	0	0
	広聴費	21,851	14,850	9,325	25,080	27,654	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	40,000	55,000	60,540	14,000	66,890	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	13,661	730	0	0
	資料購入費	101,232	299,655	245,120	176,375	133,032	259,493	28,853	33,837
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	69,285	112,518	94,639	44,825	98,035	45,613	86,707	1,855
差引返還額	820,283	686,546	347,089	461,152	360,836	17,298	174,290	230,756	

※すべての費目について、支出を証明する領収書等が添付されています。

※三次市のホームページから各議員の支出状況が閲覧できます。



政務活動費

◎使途基準

- 調査研究費……市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研修費……研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 広報費……活動及び市政について市民に報告するために要する経費
- 広聴費……市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、相談等の活動に要する経費
- 要請・陳情活動費……要請・陳情活動を行うために必要な経費
- 会議費……各種会議に要する経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
- 資料作成費……資料の作成に要する経費
- 資料購入費……必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 人件費……活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費……必要な事務所の設置及び管理に要する経費



議会を傍聴しに行ってみよう

今日は傍聴席へ案内したいと思います。



市役所7階に議場はあります。上がってみましょう。



広報広聴常任委員の4人がご案内します。

感染症対策のため検温や手消毒にご協力ください。

検温



消毒



スロープを上がってドアを静かに開けてください。



傍聴席ではこちらを配布しています。



①傍聴券、②アンケート、③市議会のしおり
アンケートを書いて帰ってくださいね。



本会議当日はこんな感じです



感染症対策で今は席を1つ空けて座るようにしています。テーブルもあって気になる事はメモもしやすいです。

同じフロアには他にこんな部屋があります



議会事務局



お問い合わせや
請願・陳情は
こちらへ

お子様連れや車いす等、傍聴に不安がある方はお気軽に事務局へお問い合わせください。
(問い合わせ先は裏表紙に記載)

ぜひ、お越しください。



三次市議会では、感染症対策を行っています。密を避けてマスク着用でお越しください。ケーブルテレビ中継やインターネット配信も実施していますので、そちらもご利用ください。

※撮影のため、密を避けて一時的にマスクを外しています。



スマホやパソコンでも

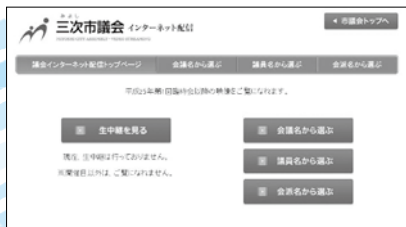
(((議会配信中!)))

■ 議会中継・録画配信

開会日は中継を配信！会議後には録画もアップしています。

三次市議会 インターネット配信

検索



インターネット
配信ページ

■ アプリ



マチイロ

みよし市議会だよりがアプリで読めます。ぜひご利用ください。

※アプリ利用料は無料ですが、情報の受信には通信料が必要となります。

運営：株式会社ホープ/福岡市



iOS



Android

「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに出演中！

三次市議会では、三次ケーブルビジョンで放送している「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに毎月1回出演しています。毎回各常任委員会等から2人出演し、取組等を中心に議会活動を市民のみなさんにお知らせします。

スタジオから生放送で議会情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。

チャンネル：111ch

番組名：あっちこっち三次（市議会トピックスのコーナー）

放送時間：17時30分～（生放送）、再放送あり

放送日：毎月第4水曜日（放送日は予定です） 詳細はこちら↓

- 出演予定：8月 教育民生常任委員会
- 9月 総務常任委員会
- 10月 予算決算常任委員会



※放送日、出演予定等の変更になる場合があります。

※番組内容や放送に関することは三次ケーブルビジョンへお問い合わせください。

株式会社三次ケーブルビジョン

TEL:0824-65-2211
FAX:0824-65-0066

議会のうごき

2021(令和3)年
5月1日～7月31日

5月

- 12日 会派代表者会議
- 18日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- 28日 会派代表者会議

6月

- 7日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 6月定例会本会議、全員協議会、
広報広聴常任委員会
- 21日 6月定例会本会議（一般質問）
- 22日 6月定例会本会議（一般質問）
- 23日 6月定例会本会議（一般質問）、議員定数等調査
特別委員会
- 24日 総務常任委員会
- 25日 教育民生常任委員会
- 28日 産業建設常任委員会
- 30日 予算決算常任委員会

7月

- 2日 6月定例会本会議、議会運営委員会
- 16日 広報広聴常任委員会
- 20日 議員定数等調査特別委員会、会派代表者会議
- 21日 広報広聴常任委員会
- 28日 市議会トピックス（議員定数等調査特別委員会
正副委員長）
- 30日 議会運営委員会

■ 広報広聴常任委員の変更がありました
会派の変更に伴い、山田真一郎議員から増田誠宏
議員に変更となりました。





次回の定例会は
9月3日(金)に
開会する予定です。

請願・陳情の提出は、8月23日(月)正午まで
陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

第4回
傍聴者に聞いた!
「傍聴ってどうだったのか!!!」

傍聴のきっかけは何ですか?



増田委員



宍戸さん

地元議員が一般質問するということだったので、傍聴に来ました。

傍聴の感想を教えてください!



増田委員



宍戸さん

一般質問一覧表を見ていると、今議員さんが何を考えているかよくわかると思いました。

ありがとうございました。傍聴に来られた方には市議会のしおり等資料をお渡ししています。また傍聴に来てください!



増田委員



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。
三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

6月定例会を傍聴に来られた方にインタビューしました。なぜ傍聴したの? どうだった? これを参考にみなさんも議会を傍聴してみませんか?

傍聴のきっかけは何ですか?



月橋委員



Mさん

毎年グループで地元議員を応援しに来ているんです。

傍聴の感想を教えてください!



月橋委員



Mさん

地元の課題をよく知っていると感じました。各テーマでもナルホドと思うものが色々ありました。

いつも傍聴ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。また傍聴に来てくださいね。



月橋委員



他にも、中学生が市役所の職場体験学習の一環で傍聴に来てくれました! ありがとうございます。



お問い合わせは 議会事務局へ
TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110
Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

注目スポット

無人農産物販売所
「あこがれ市場」(甲奴町)



「小童の祇園さん」として知られている甲奴町小童の須佐神社。その近くの県道51号線沿いに無人販売所があります。取れたてのアスパラガスなどの野菜をはじめ、有精卵、ローリエの葉、薪など様々なものが置いてあります。また、今やキャンプの必需品、スウェーデントーチも手に入ります。車で通る人がひっきりなしに足を止め、田舎の良さを感じられる、地域の思いがあふれるパワースポットがコロナ禍で成長し続けています。
(月橋寿文)



あとがき

7月2日に6月定例会が無事終了しました。全国的に人口減少や少子高齢化が進むなかで、将来的に大きな課題である議員定数の適正化について議論されています。三次市議会においても調査研究を行うため、新たに「議員定数等調査特別委員会」を設置することになりました。小田委員長、杉原副委員長をはじめ10人のメンバーを中心にあらゆる観点から調査研究し議論を深めて参ります。
昨年の高校生との意見交換会は、本当に楽しくとても勉強になりました。これからも広報広聴常任委員会の一員として、皆さまの声を議会に反映出来るように全力で努力して参ります。
(中原秀樹)